

**青地林宗** 蘭学者。「気海観欄」を著し、物理学の紹介者として不朽の名を残す。

あおちりんそう

黄表紙始・1775 = 生。伊予国松山藩医青地快庵の子。

意知刺殺事件1784 = 9歳 :

田沼意次失脚1786 = 11歳 :

松平定信引退1793 = 18歳 :

累代の医家として早くから漢方に親しみ、  
京坂に遊学、  
ついで江戸に赴き、蘭方を杉田玄白に学ぶ。

伊能測量始・1800 = 25歳 : 父の死で帰藩、家督を継ぎ蘭医として立つ。

藤栗毛始・1802 = 27歳 :

いざ 刀来航・1804 = 29歳 : ロシア使節レザノフの長崎来航に際し、彼の洋学知識を役立てようと、長崎探題の藩主松平定国から監察  
に任命されたが、書齋人で俗事を嫌う林宗は、出世の機会にもかかわらず断り、  
青洲麻醉手術1805 = 30歳 : 致仕した。大坂・長崎へ遊学した後、

江戸へ出て師友を頼るうち、

ゴロウ ン拿捕 1811 = 36歳 : この年、天文方に新設された蕃書和解御用局に採用された馬場佐十郎に師事、

水野忠成老中1818 = 43歳 :

・・・・・・ 1820 = 45歳 :

英船浦賀来航1822 = 47歳 : \*佐十郎の死で天方台訳員となり、佐十郎が果たせなかったゴローニンの「日本遭厄紀事」を訳了すると、  
シマ 卜来日・1823 = 48歳 : \*「依百乙薬性論」を著したのをはじめ、「公私続爾触内科書」「詞倫産科書」「医学集成」などの医書はじめ、海  
外の科学知識を充実させた。

異国船打払令1825 = 50歳 : ーボイスの「格物総凡」から、物性・光・電気・気象・潮汐などの40項目を抄訳して「気海観欄」を著し、

日本外史・1827 = 52歳 : \*わが国最初の物理学書として刊行され、近代科学の導入に画期的な役割を果たした。この年、幕命でヒュ  
ブネルの「輿地誌」65巻を訳す。

シマ 卜追放・1829 = 54歳 : ー「奉使日本紀行」を訳して刊行。

富嶽三十六景1831 = 56歳 : 訳語の確定を討議する同志会の結成を計った。

鼠小僧磔・1832 = 57歳 : 水戸侯に招かれ藩医兼蘭学教授となったが、

天保大飢饉始1833 = 58歳 : 江戸の本所で、病没した。

2男5女があり、男子はともに天逝したが、長女は坪井信道、2女は伊東玄晃、3女は川本幸民、4女は高野長英などの蘭学者に嫁した。幸民は林宗の遺志を継ぎ、一層正確精詳な物理学書「気海観欄広義」を著わした。